

山田日之出ガス リスクアセスメント No.5

山田日之出ガス(株) 本社充填所

プラットホームでの作業

【想定されるリスクシナリオ】

- (1)容器に充填し移動させている。
- (2)プラットホームには凸凹があり充填容器を倒してしまう。
その衝撃によってバルブが開いてしまい液が漏洩した、急いで容器を起こそうとした際、手に液がかかってしまい凍傷、医者治療となる。

【潜在するリスクの見積もり】

- (1)事故の発生確率:3(1年に1回程度発生)
- (2)事故の重篤度: I (軽微・・・医者による治療)
- (3)該当するリスクに×をする

【潜在するリスクの程度】

今回の場合は、黄色(中リスク)なので速やかに低減処置を講ずることが必要となる。

【リスク低減処置の内容検討】

- 予防策として以下が提案された。
- (1)プラットホームの凸凹を補修する。
 - (2)補修が完了するまでの間はコーンをたて立入禁止にする。

【リスク低減策実施後に存在するリスク】

- (1)事故の発生確率:2(数年に1回程度の発生が考えられる)⇒事故の発生確率が3から2に低減
- (2)事故の重篤度: I (軽微・・・医者による治療)
予防策を講じたことからプラットホームでの存在するリスクは「中リスク」から「低リスク」になった。

【低減処置の実施と結果の関係者への周知】

- (1)リスクアセスメントの結果を関係者に指示し、リスク低減処置状況を報告させることとした。
- (2)事業所内にリスクアセスメントの結果を掲示した。

事故の発生確率	4					
	3		×			
	2		○			
	1					
	0					
		0	I	II	III	IV
		事故の重篤度				

【事故の発生確率】

- 0:考えられない
- 1:まず起こりえない(10年に1回程度の発生が考えられる)
- 2:起こりそうにない(数年に1回程度の発生が考えられる)
- 3:時々発生する(1年に1回程度の発生が考えられる)
- 4:しばしば発生する(1月に1回程度の発生が考えられる)

【事故の重篤度】

- 0:無傷又は救急箱で対応
- I:軽微(医者による治療)
- II:中程度(通院治療)
- III:重大(重症、入院治療)
- IV:致命的(死亡)